

令和8年4月23日に、6年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、概要をお知らせします。

1. 全体的な学力の状況

- ・国語・算数ともに、全国および兵庫県の平均を大きく上回る結果を収めました。
- ・基礎的な学力はもちろんのこと、応用力についてもしっかりと身につけていることが示されています。

2. 教科別の強みと今後の課題

◆ 国語

- ・高い正答率となっており、全国や兵庫県の平均を大きく上回っています。
- ・漢字の書き取りや言葉の使い方といった、基礎的な知識がしっかりと定着しています。
- ・文章を読んで条件に合わせて抜き出すような記述式の問題に対して、空欄のまま諦めてしまう児童が全国と比べて非常に少なく、書くことへの抵抗感が少ない（前向きに取り組む姿勢がある）ことが確認できています。

◆ 算数

- ・全国や兵庫県の傾向と比較して大きく上回っています。特に、長さを測る領域や、数量の変化や関係性を捉える問題において、全国平均を大幅に上回っています。
- ・割合などを用いて複雑な数量関係を整理する問題でも優れた結果を残しており、論理的に思考する力がしっかりと身についています。
- ・複数の条件が絡む複雑な表から、必要な情報を的確に読み取る問題について、課題があります。

3. 学習に対する意識や習慣について

- ・「算数の勉強が好き」「外国語の勉強が好き」と答える割合が全国と比べて非常に高く、肯定的な気持ちを持って授業に取り組んでいます。
- ・授業や家庭学習でのパソコンやタブレット端末等の活用状況が、全国平均に比べてやや低めとなっています。
- ・授業の中で自分の考えを深めたり、友だちと意見交換したりする「主体的・対話的な学習活動」についても、全国平均に比べてやや低めとなっています。

4. 今後の取組

今回の結果を踏まえ、本校では今後以下の点に力を入れて指導してまいります。

・資料を読み解く力の育成

（算数を中心に、日頃の授業からグラフや複雑な表を正しく読み取り、情報を活用する機会を増やしていきます。）

・タブレット端末の効果的な活用

（児童の高い学習意欲を活かし、単なる調べ学習だけでなく、お互いの意見を共有する場面や自分のペースに合わせた家庭学習などで、さらに端末を活用していきます。）

・対話を通じた深い学びの推進

（「算数が好き」という強みを活かし、解き方を友だち同士で説明し合う活動や、国語での話し合い活動をさらに充実させることで、主体的に深く学ぶ力を伸ばします。）

今後とも、ご家庭でのあたたかいお声がけとご支援を賜りますようお願いいたします。